

熱く、やさしく、誠実にサポートします。

地域支援事業



【発行】

京丹波町

【企画・編集】

企画政策課地域支援室

瑞穂支所・和知支所(地域支援担当)

【発行日】

平成22年(2010年)7月

【問い合わせ先】

企画政策課地域支援室 藤田義幸・片山 健 TEL0771-82-3801
瑞穂支所地域支援担当 小松聖人・岡本 淳 TEL0771-86-0150
和知支所地域支援担当 堀 友輔・山下 稔 TEL0771-84-0200

URL: <http://www.town.kyotamba.kyoto.jp>
E-Mail: kikaku30@town.kyotamba.kyoto.jp

幅広い情報収集・提供、迅速な対応や
確かなアドバイスをを行うなど、
地域支援担当は、地域の皆様から
信頼される存在となるよう、
正確に、そして着実に業務を遂行します。

地域支援担当は、地域の皆様にとって
より身近で、親しみある存在になるよう
真心込めた「対話」と「行動」で
地域のまちづくりをサポートします。

地域づくりの原点は、住んでいる人びとの
地域への愛着や誇り、そして情熱です。
地域支援担当は、地域の人びとと同じくら
いの情熱を胸に、地域のまちづくり活動や
活性化をサポートします。

熱く、やさしく、誠実にサポートします。

地域支援事業



熱く、やさしく、誠実に地域づくりをサポートします。

◎地域支援のカタチ

まちづくりの原点、それは「住民自治」です。すなわち、今そこに住んでいる人びとの地域に対する愛着や誇り、そして「自分たちの地域を自分たちの手で良くしていこう」という住民自治の意識がなければ住みよい地域づくりの実現はあり得ません。しかし、過疎化、少子高齢化、後継者不足が進む今の農山村での暮らしにおいて、住民自治の意識が持ちづらくなっているのも事実です。年々増えていく荒廃農地や空家、深刻な鳥獣被害、地域から徐々に子どもの声が消え活気がなくなっていく現状に、明日の地域づくりや夢を描きづらくなっています。

そんな今、行政には、地域の皆様に励まし、元気づける地域支援、また、地域課題を共有し、解決に向けて共に行動するなど、地域の皆様に安心と信頼をもたらす地域支援が求められています。こうした使命を持って本庁・支所に配属された地域支援担当は熱く、やさしく、誠実に、それぞれの地域に合ったまちづくりをサポートします。

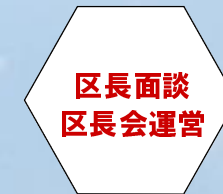
その1つ目の支援のカタチは、住民自治による活力ある地域づくり支援です。それぞれの地域の実情を踏まえ、地域の皆様と同じくらの愛着や誇り、情熱を胸に地域おこしや活性化の取り組みを後押しします。

2つ目の支援のカタチは、「対話」と「情報共有」による地域と行政との信頼づくりです。地域の皆様との直接的な対話や現場での対応を常に意識し、情報の共有やニーズの把握などきめ細かな支援により、地域の皆様と信頼で結ばれたより良い関係づくりをはぐくみます。行政依存を助長するのではなく、地域の皆様との信頼を築き、住民自治を育てるのが、わたしたち地域支援担当の任務です。

◎おもな支援メニュー



- 地域づくりコンサルティング
- 住民自治組織の育成



- 区長様との面談・相談(定期的に)
- 町区長会の運営充実
- 町政報告会の開催



- 町長と語るつどいの開催
- 集落要望等への対応強化



- ① 住民自治による活力ある地域づくりの支援
- ② 「対話」と「情報共有」による地域と行政との信頼づくり
- ③ 地域や住民の皆様のニーズを反映した町政運営

地域づくりへの思いを カタチにする情熱サポート。



和知地区・北部振興会の「北部ミニ文化祭」でのひとコマ。

集落をはじめ、地域内の各種まちおこし団体に対して、
 情報提供やアドバイス、企画提案など、
 さまざまなメニューをご用意。
 地域の思いをカタチにする情熱サポートで、
 まちおこし活動の充実や
 地域の活性化を後押しします。

企画 地域支援担当が地域のプランナーに。

調査から企画立案、活動実践までをトータルサポート。

「集落に元気が出るような取り組みがしたい」、「活動をもっと効率的なものに改善できないだろうか」など。地域の皆さんの思いや考えをカタチにするため、地域支援担当がプランニング。アンケート調査から企画立案、活動の実践まで、地域のまちづくりを熱い心で応援します。具体的な支援内容は右のページのとおり。下の例で示すように、地域の皆さんのご要望に合わせてメニューを組み合わせます。

集落の運営や活動をもっと効率的なものに改善したい。

アンケート調査

ワークショップ

活動の改善策を企画提案

集落に元気が出るような取り組みがしたい。

ワークショップ

新しい活動の企画立案

案内文書や申請書類の書き方を教えてほしい。

各種相談・アドバイス



◎アンケート企画・集計・報告書などの作成サポート

調査項目の設定や集計など作業の一部をお手伝い。



新しいことを始めたり、改善したりするときは、みんなのニーズや意向が知りたいもの。ただアンケートするのは骨が折れる一。そんなときはお任せください。地域支援担当が作業をお手伝いします。

- アンケートの企画提案(調査の目的や調査内容の設定など)
- 調査表の作成サポート
- 集計作業のサポート
- 報告書の作成サポート

◎ワークショップの進行・演出サポート

明日のまちづくりの「きっかけづくり」をサポート。



自分たちの地域を見つめなおし、これからの地域のあり方を話し合うワークショップの開催。企画提案から進行、資料作成までトータルにサポートし、明日のまちづくりの「きっかけづくり」を応援します。

- ワークショップの企画提案(目的やテーマ、回数などの設定)
- ワークショップの進行
- 報告書や実践プランの企画書などの作成サポート

◎新規活動・地域の将来計画の企画提案(プランニング)サポート

地域の皆さんのまちづくりへの思いをカタチに。

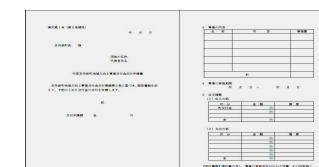


アンケートやワークショップを通じて得られた地域の皆さんの意見やアイデアをもとに、新たな活動や将来計画を企画提案するなど、皆さんの地域づくりへの思いをカタチにするお手伝いを担います。

- 新規の地域活動の企画提案
- 地域将来計画の企画提案
- 実践のための組織や仕組みづくりに関する企画提案など

◎各種相談・アドバイスサポート

地域のまちづくりに関するご相談はお気軽に。



地域のまちおこし活動や集落、団体の運営に関することなどお気軽にご相談ください。また、案内文書や申請書類、事業計画書の書き方などのアドバイスもさせていただきます。

- 各種案内文や申請書類などの書き方アドバイス
- 地域活動や組織運営のあり方など地域におけるまちづくりに関する相談やアドバイスなど



Supporting Menu 1

地域づくりコンサルティング

地域づくりへの思いを
カタチにする情熱サポート。



地域づくりコンサルティング



地域をもっと広く、多くの人にPR。

地域情報をさまざまな方法で発信します。

「地域のイベントや取り組みをもっと広く知らせたいけれど手段がない」。そんな集落やまちづくり団体の皆さんのために、地域支援担当がPRや情報発信を代行します。町ホームページやTwitter(ツイッター)、報道機関への情報提供などさまざまな手段・方法でPR。また、PRや情報発信に関するアドバイスや企画提案も行います。

町ホームページに地域情報コーナーを開設しPR代行

町ホームページに「地域情報コーナー」を開設。地域でのイベント情報や各種募集記事、季節の話題、特産など、集落やまちおこし団体のさまざまな情報を発信します。町公式サイト(公共性・信頼性)を生かして主に外向けのPRを代行します。



その他のPR方法・報道機関を通じた情報発信

Twitter(ツイッター)や独自フリーペーパー、また、報道機関への積極的な情報提供を通じたPRなど、さまざまな方法や手段を用いて、地域のまちづくり情報の発信を代行します。

町が開設している
Twitter(ツイッター)



PR戦略のアドバイス・企画提案

「会報を作りたい」、「イベントのチラシを作りたい」、「もっと効果的なPR方法はないだろうか」など、PRや情報発信でお悩みのことがありましたら、地域支援担当にご相談ください。いろんなPR方法や手段に関する情報を集め、アドバイスや企画提案します。



まちづくりは「人づくり」から。

講演会や各種講座などで人づくりをバックアップ。

まちづくりは「人づくり」といわれるように、地域づくりを担う人材の育成は重要です。大学教授や先進地の地域リーダーなどを講師とした講演会の開催をはじめ、まちづくりに関する各種講座の紹介や参加促進を図るなどして、人材育成をバックアップします。



「まちづくり講演会」(2009年7月)で講演する広島県安芸高田市川根振興会・辻駒健二会長。

講演会の開催など

- 地域づくりをテーマにした講演会の開催。
- 職員研修の実施
(町職員についても地域の人材として育成、意識づけを促進。)

各種講座などの紹介

住民自治によるまちづくりや地域リーダー養成などに関する各種講座、セミナー、ワークショップなどを紹介し、参加を促します。



統計資料や地域データ、先進事例、視察先データなどを資料化して提供。

まちづくり情報をお好みに応じてわかりやすく提供。

「集落の人口推移や年齢構成が知りたい」「〇〇をやりたいが、何かよい制度はないか」など、こんなときはお任せください。統計資料の作成、各種制度や先進事例の紹介など、ご要望のデータを地域支援担当が取りそろえ、わかりやすく資料化して提供します。また、視察先の選定や視察資料の提供などもサポートします。

資料の作成・提供

つぎのような資料を編集し、提供します。

- 集落別人口統計資料
- 農林業関連の統計資料
- 地域データ(他集落の運営体制・役職・行事)など

制度・先進事例の紹介

- 地域づくりやまちおこし活動に関するさまざまな制度を紹介します。
- インターネットや書籍から先進事例を収集。お好みに応じて編集し、提供します。

視察先の選定・資料提供

地域づくりやまちおこし活動に関する先進地視察をお考えのときは、ご相談ください。視察先の選定や資料の準備・提供などをサポートします。

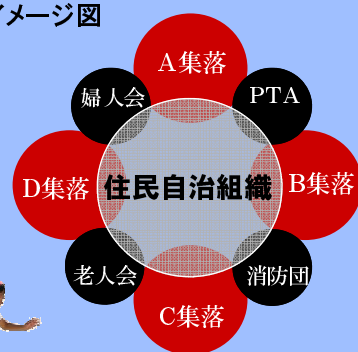
次代へつなぐ、新しい地域づくりのしくみ。

過疎化や少子高齢化、後継者不足などにより農山村集落を取り巻く状況が厳しいなかで、それぞれの集落機能を守り、住みよい地域をつくっていくための新しい地域づくりのカタチ。それが「住民自治組織」です。おおむね小学校区域の集落で連携し、人材を集め、地域の活性化や課題解決をめざします。

地域力向上会議の様子。ワークショップ形式で気軽に話し合うなかで、互いに思いを共有し、地域づくりへの意識を高めます。



図1 住民自治組織イメージ図



集落の枠を超えた「共助」のしくみ

図1は地域内の各組織の負担割合を円でイメージして表しています。中央に「住民自治組織」の円を描くと、重なり合う部分ができますが、この部分はいくつかの集落や各種団体が共同で担う領域であり、この領域を大きくすることで、それぞれの負担を軽減するというのが、住民自治組織という新しいしくみです。例えば、地域活性化や農地保全、防犯など集落間で共通する課題解決を、おおむね小学校区範囲の集落が連携して行い、高齢化や担い手不足が深刻な集落の負担を軽減し、住みよい地域をつくっていくというものです。

おおむね小学校区範囲の各集落や地域内の各種団体を組織を構成。互いの連携やさまざまな人材の参画によって生まれる力で、地域課題を解決し、住みよい地域づくりをめざします。

住民自治組織の育成に向けて、地域支援担当がサポートします。

地域力向上事業

地域で話し合いから始めよう。

住民自治組織を育成するための「きっかけづくり」として、地域の皆様にご提案するプランが「地域力向上事業」。ワークショップ形式の話し合いから始まり、活動の実践、そして住民自治組織の組織化に至るまでを町の地域支援担当がサポートします。新しい活動や組織の充実を考えている既存の地域振興会も、同事業を通じてサポートします。

Step 01 **きっかけづくり**
話し合いで意識を共有

Step 02 **活動実践**
やれることを、やってみる

Step 03 **住民自治組織**
組織化の検討

地域力向上会議 地域で未来を語ろう。



地域力向上会議とは、区や婦人会、消防団など地域内の各種団体の関係者が集い、地域の課題や魅力をワークショップ形式で話し合い、これからの地域づくりのあり方を見出していく取り組み。地域支援担当がワークショップの進行や資料準備などのサポートを行います。

➡ 詳しくは10ページへ。

話し合ったことを実践

地域力向上会議で見いだした活動プランを「絵に描いた餅」で終わらせるのではなく、話し合ったメンバーを中心に実行組織を立ち上げるなど、プランの実現に向けて準備を進めます。実行組織の立ち上げについても、地域支援担当がサポートします。



「和知西部地域づくりプラン」

➡ 詳しくは11ページへ。

住民自治組織へ成長

実行組織の活動が軌道に乗ってきたら組織のさらなる充実、すなわち実行委員会型の組織から「住民自治組織」へと組織の充実を検討します。もちろん地域支援担当がサポートします。また、既存の住民自治組織(地域振興会)には、「まちづくり交付金」により活動を支援するとともに、新たな活動の企画や組織の見直しなどについても、着実にサポートします。

➡ 詳しくは12、13ページへ。

住民自治組織の役割 住民自治組織で こんなことが可能に

表1 集落の役割と住民自治組織の役割(例)

集落 (維持活動)	住民自治組織 (課題解決、創造)	
道作り・草刈り	農地保全	子育て支援
財産の管理	環境美化	Uターン促進
敬老行事	高齢者サロン	都市農村交流
親ぼく会など	防犯・防災	活性化イベント

事例1 共同実施で地域活動を維持・発展。

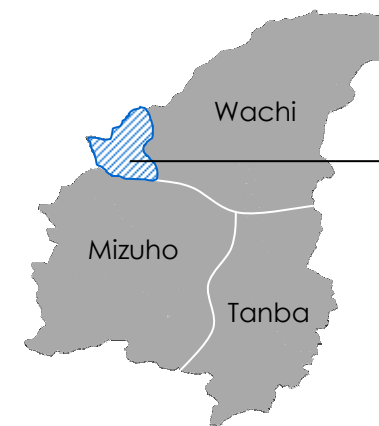
運動会や夏祭り、子ども会活動など集落単独での実施が難しくなってきた活動を住民自治組織の活動へと移し、組織を構成している集落で人材を出し合い、活動を維持・発展させます。

事例2 人材や知恵を集結して課題解決。

一集落の力では実現できそうにない地域課題の解決や都市農村交流といった地域活性化も、人材がそろっている住民自治組織でなら実現できる可能性が出てきます。

事例3 集落の事務の共同処理により負担軽減と効率化。

区総会の資料準備や各種補助金の申請書類の作成など、各区の事務を一手に引き受ける専任担当者を住民自治組織に置くことで、各区の負担軽減と効率化を図ることができます。



地域力向上事業最前線



「わち西部元気づくり大運動会」の様子(平成22年10月24日)。住民自治の原点は「地域住民の団結・きずな」。それらをはぐむ交流の場として開催しました。

動き出した地域。
ふるさとの未来づくりが
ここから始まる。

和知地区の西部5集落(才原、大簾、広野、出野、稲次)では、平成21年7月～11月まで、全5回の地域力向上会議を開催しました【表1】。参加者は少人数のグループに分かれ、地域の魅力や課題を掘り起こし、それらを踏まえて「環境美化」や「安心安全」「地域コミュニティ」「地域活性化」といったテーマを設定。その後、各テーマの魅力を生かした取り組みや課題の解決策をグループごとに企画立案し、今後の地域づくりのあり方を見いだしました【図1】。

こうして生まれた5つの活動プランを実現していくため、地域力向上会議の参加者を中心に、そのための組織づくりについて検討。平成22年6月24日に「わち西部元気づくり委員会」を発足しました。同委員会は住民の交流促進を目的として、同年秋に「西部大運動会」を開催。また、美しい環境を保全する取り組みとして、廃食用油回収活動を始めようとしています。話し合いを通じて芽生えた地域づくりへの思いが、ふるさとの未来をひらく「行動」へとつながっています。

地域で話し合いから始めよう。



Work shop
開いてみませんか、地域力向上会議。

地域力向上会議とは、区や婦人会、消防団、子ども会、老人会など、老若男女が集い、地域の課題や魅力をワークショップ形式で話し合いを通じて、これからの地域づくりのあり方を見出していく取り組みです。右の表は、あくまで一例であり、会議の回数や内容などは事前に地域の皆様と打ち合わせをして決定します。会議には町の地域支援担当が出席し、ワークショップの進行や資料準備などのサポートを行います。また、地域力向上事業交付金を通じて、ワークショップの開催を財政面でも支援します。

地域力向上会議のプログラム例	
Workshop Program	
打ち合わせ Arrangement	会議の回数や内容を参加者と共に検討。
グループワーク Group Work	地域の魅力・課題を探そう。
グループワーク Group Work	自分たちでできることを考えよう。
グループワーク Group Work	活動の具体的な企画書をつくらう。
グループワーク Group Work	活動実践のためのシステムを考えよう。
企画書の発表 Presentation	立案した活動企画を発表し共有しよう。

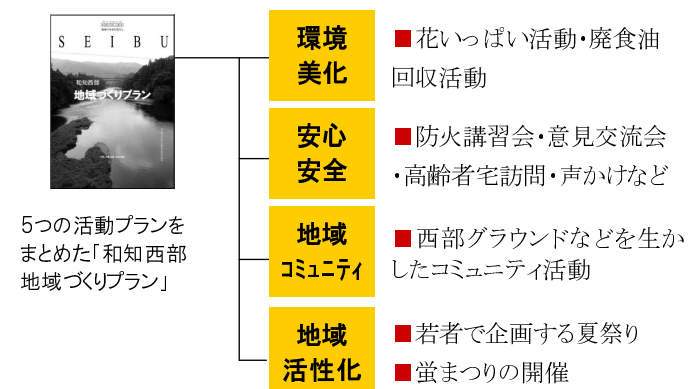
グループワーク
ここがいい！

大勢で、堅い雰囲気での会議。意見が出ない会議。言いつばなしの会議。そんな会議から脱却するには、少人数で話し合う「グループワーク」が効果的。一人ひとりの言葉をカードに書いて大きな紙に張り出し、それをみんなで見ながら話し合うので、意見が共有されやすく、楽しい雰囲気の中で充実した話し合いができます。

表1 地域力向上会議の開催状況

日時	場所	テーマ	参加者
7月24日	出野	住民自治組織によるまちづくりとは	33人
9月8日	広野	地域の魅力や課題を探そう	25人
10月8日	才原	自分たちでできることを考えよう	23人
11月4日	出野	具体的な企画書をつくらう	16人
11月30日	広野	活動実践のための組織を考えよう	23人

図1 地域づくりプランの体系図



ワークショップの開催を地域支援担当がサポートします。

地域力向上事業交付金

ワークショップの開催費用としてご活用いただけます。

上限 **50,000**円

既存の住民自治組織(地域振興会)や住民自治組織の組織化を目的とした団体が対象。

申請される団体は、事前に地域支援担当にご相談ください。

グループワークの進行

楽しく、充実した話し合いができる雰囲気をつくれます。

地域支援担当がグループワークを進行しますので、皆さんは気軽に話し合い、ワークショップを楽しんでください。

トータルサポート

資料準備、企画書制作などトータルにサポート

資料の準備やワークショップの様子を伝える広報紙の制作、企画書の制作など、ワークショップ開催をトータルにサポートします。

表2 地域力向上会議の取り組み実績と成果(平成21年度実績)

団体名	実施期間	概要	成果
北部振興会	21年11月～22年3月	全世帯(会員世帯)を対象にアンケートと行い、その結果を踏まえた話し合いを実施。	組織運営や活動のあり方を見つめなおすきっかけとなった。
三ノ宮地域振興会	22年2月～22年3月	4回のグループワークを実施。地域の魅力・課題を掘り起こし、今後の活動プランのアイデアを出し合った。	三ノ宮地域振興会の新しい活動の企画立案の場となった。
質美地域振興協議会	21年11月～22年2月	先進地研修を行い、その結果を踏まえて今後の組織運営のあり方などを話し合った。	組織運営や活動のあり方を見つめなおすきっかけとなった。
和知第2ブロック区長会	21年6月～21年10月	5回のグループワークを実施。地域の魅力・課題、今後の地域づくりのあり方を話し合った。	上和知中部村おこし委員会発足のきっかけとなった。
和知第6ブロック区長会	21年7月～21年11月	5回のグループワークを実施。地域の魅力・課題、今後の地域づくりのあり方を話し合った。	わち西部元気づくり委員会発足のきっかけとなった。

真の住民自治組織へ。

現在、町内には5つの地域振興組織があり、設立以来、住みよい地域づくりをめざし、さまざまな活動に取り組む一方、真の住民自治組織をめざして組織運営のあり方を見直すなど新たな挑戦を始めています。

Advanced Example

幅広い取り組みと女性の活発な活動が特徴です。

質美地域振興会

住民自治組織の町内の先進事例として質美地域振興会の組織構成や取り組みを紹介します。



使用済みてんぷら油回収活動。



質美八幡宮曳山行事。

組織のポイント 1 開かれた組織運営

質美地域のすべての住民を会員とした地域に開かれた組織で、各種団体の役員だけでなく、各集落から選出された住民や公募による住民など、さまざまな人材が運営にかかわれる仕組みを設けています。

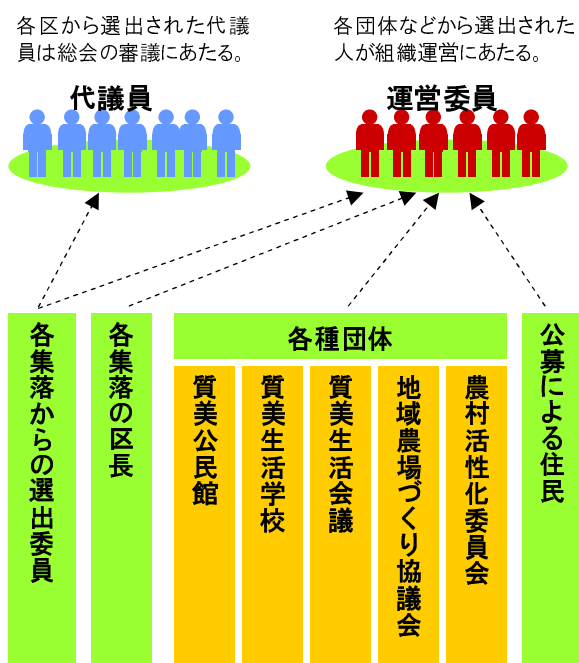
組織のポイント 2 幅広い取り組みを展開

家庭から出た使用済みてんぷら油回収やノーレジ袋運動などの環境活動をはじめ、小学校と連携した食育運動、地域の伝統行事「質美八幡宮曳山行事」(府指定文化財)の保存など幅広い活動を展開しています。

組織のポイント 3 光る女性や若者の活躍

特に環境活動や食育活動において、女性や若い世代の活躍があり、女性ならではの生活者視点に立ったアイデアや若い世代の柔軟な発想が、地域活動に活気を生んでいます。

図1 質美地域振興会の構成



- 質美地域の住民すべてが会員。
- 住民からの会費などを財源に運営。

地域振興組織・集落連携組織の状況

※ 人口・世帯数は平成22年4月1日現在

■ 地域振興会 □ 集落連携組織

わち西部元気づくり委員会

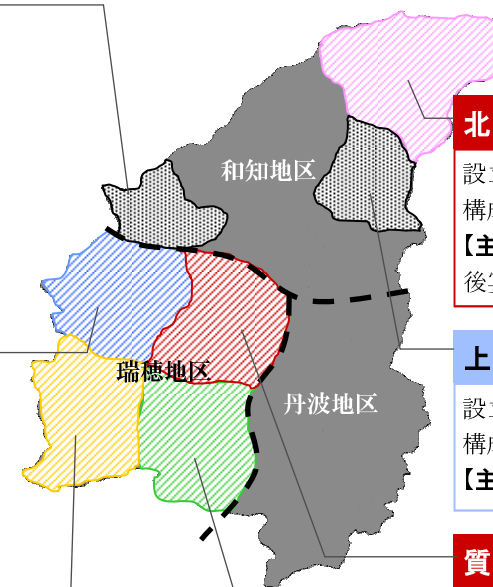
設立/平成22年6月
人口/427人(160世帯)
構成/和知第6ブロック5集落
【主な活動】
廃食油回収活動、西部大運動会の開催(予定)

三ノ宮地域振興協議会

設立/昭和51年
人口/982人(383世帯)
構成/三ノ宮小学校区8集落
【主な活動】・ふれあい祭り
・三ノ宮城跡や質志鐘乳洞を生かした地域活性化など

梅田地域振興会

設立/昭和61年
人口/1,260人(434世帯)
構成/明俊小学校区8集落
【主な活動】花いっぱい運動、関係機関への要望活動など



北部地域振興会

設立/平成17年 人口/289人(111世帯)
構成/和知地区北部5集落
【主な活動】みんなの交流会、地域名所巡り、後宴体育大会、花いっぱい運動など

上和知中部村おこし委員会

設立/平成22年6月 人口/451人(184世帯)
構成/和知第2ブロック6集落
【主な活動】収穫感謝祭の開催(予定)

質美地域振興会

設立/昭和63年 人口/569人(207世帯)
構成/質美小学校区7集落
【主な活動】廃食油回収活動、食育・あいさつ運動、質美八幡宮曳山行事の保存活動など

桧山地域振興会

設立/昭和56年 人口/2,139人(872世帯)
構成/桧山小学校区9集落
【主な活動】関係機関への要望活動など

既存の地域振興会や集落連携組織の運営もサポートします。

住民自治組織によるまちづくり交付金

地域振興組織の活動を財政面でしっかりサポート。

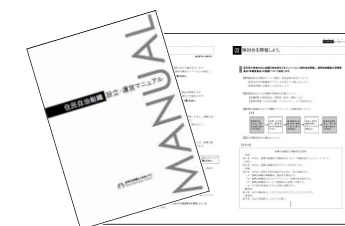
均等割 200,000円
+
人口割 50円 × 毎年4月1日現在の住民基本台帳人口

【交付対象団体】
おおむね小学校区内の区や団体などで構成。地域内のだれもが運営に参加でき、地域に開かれた組織であるなど。

住民自治組織設立・運営マニュアル

組織運営の手引書としてご活用ください。

地域振興会の設立過程や組織運営のポイントなどを収録した「住民自治組織設立・運営マニュアル」をお渡しします。



トータルサポート

活動の企画や運営アドバイスなどのサポートも。

資料の準備、ワークショップの様子を伝える広報紙や企画書の制作など、ワークショップ開催をトータルにサポートします。



地域と行政の信頼を築く 誠実サポート。

定期的に各区長様と連絡をとり、さまざまな情報の提供や地域課題の把握・共有、要望事項の聴取・回答など、各集落の相談窓口を担います。また、区長会(全体会)や地区区長会の運営・充実を図ります。

誠実 Support
地域と行政をつなぐパイプ役
区長様との面談・相談

定期的に各区長様と連絡をとり、集落の課題や要望を聞き、関係部署への報告・調整、各種制度の紹介など解決に向けて動きます。

- 訪問や電話などで連絡を密にし、より良い関係づくり。
- 各集落の現状や課題を調査し、地域データ集としてまとめ共有化。
- 課題解決のための相談や各種制度の紹介など。



誠実 Support
機能を充実・強化
区長会の運営充実

京丹波町区長会(全体会)の開催や同理事会の機能強化、地区区長会の運営を担うなど区長会活動の充実を図ります。

- 85集落の区長様が一堂に会する町区長会(全体会)の開催。
- 区長会理事会(役員会)の機能強化。(町長懇談や政策提言など)
- 地区区長会の運営など。



誠実 Support
しっかり説明・報告
町政報告会の開催

町区長会(全体会)の中で町政報告会を開き、町政の方針や主要事業、予算の概要などをわかりやすく説明します。

- 町長の施政方針や主要事業、予算の概要をわかりやすく説明。
- 分かりやすい資料づくり。興味・関心をひくプレゼンテーション。
- 地域支援事業の概要説明など。



対話と情報共有でニーズを つかむ、ぬくもりサポート。

まちづくりについて町長と語る懇談会「町長と語るつどい」を開催。地域住民の皆様の意見やニーズを広く聞き、今後の町政運営に生かします。また、集落要望等への対応強化を図ります。

ぬくもり Support
ぬくもりある対話の場
町長と語るつどいの開催

地域の皆様の意見やニーズを聞き、町政に反映させるための場として町政懇談会「町長と語るつどい」を開催します。

- 町内24会場で開催。
- アンケートを実施し、地域の皆様のニーズに合ったテーマや内容、開催日時、場所などを設定。



ぬくもり Support
きめ細かな対応で信頼築く。
集落要望等への対応強化

集落から提出された要望書等データベース化するとともに、住民視点にたったきめ細かな回答を行います。

- 集落要望書データベース化(要望内容や回答状況の管理・共有)
- 書面による回答とともに現場立会いや面談での説明・回答など、ていねいで、きめ細かな回答を行います。



まずは内外に**知**ってもらおうことが大切です。

地域支援PR事業

広報紙やCATV、ホームページなど既存の広報媒体をはじめ、さまざまな媒体・方法を通じて、地域支援事業をPRします。

- 広報紙やCATV
- ホームページに地域支援事業のページを開設
- パンフレットの制作
- 報道機関を通じたPR



町区長会での説明や、各集落の希望に応じて説明会を開催し、地域支援事業に対する理解の輪を広げます。

